

地域での信頼確立に向けた取り組み

地域に開かれた施設の体制作りを目標に掲げ、その取り組みの1つとして、毎年1回「地域交流福祉フェスティバル」を開催しており、式典・演舞・売店など地域の方々と連携して取り組んでいる。地域の方々や利用者、そして利用者のご家族の方々とのおふれあえる場として始めたが、現在では地域交流の場として地域に定着している。

社会福祉法人 **可部大文字会**

〒731-0202 広島県広島市安佐北区大林町162-2
TEL：082-818-6011／FAX：082-818-6066／E-Mail：yamamayu@urban.ne.jp

【法人の概要】

法人設立年：平成14年6月

法人実施事業

経営施設、事業（数）：1施設、7事業

経営施設、事業（種別）：

特別養護老人ホーム…1／短期入所事業所…
1／デイサービスセンター…1／グループホーム…1／生活支援ハウス…1／ヘルパーステーション…1／居宅介護支援事業所…1

【法人の理念・経営方針】

～「山まゆ糸」のような光輝く最高の人生を送れることを心から願って～

集団生活の中でもそれぞれの利用者様が各自に合った自由な生活が送れるよう、種々援助する。また、利用者様に孤独感が醸成されないよう、積極的な仲間作りを推進すると共に、その家族様の身体的、精神的負担の軽減を図る。

実施施設の概要

施設名：特別養護老人ホーム

施設種別：老人福祉施設

活動開始年：平成15年5月

活動の頻度・時間：利用者様、利用者様の家族様、地域住民、各関係団体、教育機関など

活動の対象者：年1回、1回あたり5時間



活動実施の背景、実施にいたった理由

施設開設より、地域に開かれた施設の体制作り、利用者 と施設と施設職員との調和ある組織の構築、及び福祉を担う人材の育成を「山まゆ三本柱」として常に目標に掲げている。

それらをふまえ、地域に開かれた施設の象徴として、毎年1回「地域交流福祉フェスティバル」を開催している。

この祭典は、当施設の運営に対し、日頃のご支援・ご協力を賜った関係者に深甚なる謝意を表し、今後の発展に一層のご助力いただくことを祈念するとともに、地域社会の皆様、利用者、そして利用者のご家族の方々とのおふれあえる地域交流の場として始めたのがきっかけである。

実施内容

毎年創立記念月である5月に行う実施内容は概ね次のとおりである。

まず、ステージでは、式典、演舞等で、2部構成でプログラムを構成する。

特に、演舞では、地元の各団体からの積極的なお申し出により、小学校の田植え踊り、中学校吹奏楽部の演奏、公民館にて活動されている各クラブ活動（和太鼓、南京玉すだれ、篠笛等）、近隣神楽団の演舞等を行っていただいている。

また、屋外会場では、地域ボランティアの方々にはたくさんの売店ブース（うどん等）を運営していただき、利用者対応の施設職員とともに、福祉専門学校による学生ボランティアの方々には、利用者のガイドヘルパーとしても活躍していただいている。

なお、これらにかかる打ち合わせ、準備、当日運営、片付けに至るまで、すべて、地域住民の方々、関係団体、教育機関等とともに、「報告・連絡・相談」を行いながら、地域をあげてのフェスティバルとして実施している。

活動効果

地域と施設が一体となって開催する、本フェスティバルは、利用者だけでなく、地域の方々の5月の風物詩と認識されており、開設当初より、地域の方々を中心にしたボランティアを多くいただくなど、積極的な交流の場と定着している。

なお、昨年、本施設は、大きな水害に遭い、多大なショックの中での、施設運営を余儀なくされることもあった。しかし、その時、迅速な対応をしていただいたのは、他ならぬ、地域の方々、関係者の方々であった。この支援の輪は、「地域に開かれた施設」として多くの方々との交流を大事にしてきた賜物であったのではと強く感じている。

今後もフェスティバルを通して、多くの地域の住民、団体と積極的に交流し、開かれた施設として、地域の皆様に親しまれる高齢者の拠点施設として精進したい。

今後の課題

超高齢社会の中で増えていく要援護高齢者の方々が、住みなれた地域で安心して暮らせるためには、住民の方々との連携を深めてお互いに助け合う共助のしくみをしっかり作りあげる「地域力」を高めていくことが今後、必要である。

また進む少子化の中で、社会資源力である人力の確保は非常に難しい時代になる。これらの情勢の中でいかに施設が円滑に運営できるかは、地域住民、地域輿論の傾聴と潜在的な支援力の効果的な活用が不可欠である。その中で、本フェスティバルが今後も地域と施設との連携がとれる位置づけとなる催しとして意識づけられるようにしなければならないと考えている。

主な経費や財源の内訳（年間あたり）

<主な経費>	<概算額>
記念品	¥187,872
記念誌	¥285,180
舞台設置	¥59,993
イベント	¥236,398
売店食材	¥123,573
諸経費	¥80,160
<合計>	¥973,176

<主な財源>	<概算額>
法人本部負担額	¥687,076
その他の収入 (祝儀及び売店売上)	¥286,100
<合計>	¥973,176

